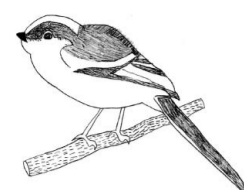


10月 エナガ(エナガ科)  
「ジュリジュリ」「ツリ」となまます。アプラムシなどの小さなこんちゅうやクモを食べます。  
頭から体まで、黒い線がつついています。腹になると、体を合わせてだに止まっていることが多いそうです。  
2年 たに本 あかり



## ありがとう 永野循環バス廃止

「9月までで永野循環線が廃止になりました。」

呉ヶ峠、神龍湖、永野、牧を回る路線バス(永野循環線)が9月で廃止となりました。永野に初めてバスが走ったのは、昭和30年半ばでした。当時は鼻バス(エンジンが前付き)で、左側前部座席が横掛けでした。

このバスに乗って牧で乗り換え、福山に出かけたり、神龍中学永野分校や東城高校に通学したり、東城の花火を見に行ったりしました。



「はエンジンルームが後ろになり鼻がなくなりました。また、車掌さんいなくなりました。乗客も段々と減少して現在の中型バスになりました。」

## 神石高原町 イベント

- 【10月19日(日)】とよまつふれあいフェスタ
  - 【10月26日(日)】さんわふるさとフェア
  - 【11月9日(日)】ふれあい神石まつり
- ◎秋の4大イベントでスタンプリリー開催!!  
詳しくは神石高原町企画課へ  
0847-89-3332



## 人物紹介

Vol.39



**伊藤 尹(いとう ゆき)さん(81歳)**  
昭和3年4月1日生まれ

「人生(まこと)をつくが如き」「つきてみよふみ、みよいむなや」とを十とおさめてきた

人生には、十二回目(こと)に一つの完了を遂げる仕組みがあります。私も六巡目を卒業八十路坂に、差し掛かりました。秘の弾みに、振幅強弱があるように、すべての学習と経験が私の貴重な財産なのです。

今年も神祇舞の「ならし」で響く鐘の音色。心忙しく六十年間の奉仕に、懐古も尽きません。

戦時時代は、日華・太平洋戦争から第二次世界大戦の言語に絶する国難の歳月でした。戦時総動員の発動で、銃後を守る子供たちも、ペンを紙に替えては、勤労奉仕を叩き込まれました。昭和20年8月広島長崎に原爆投下。この大惨禍を、すでに永野南国民学校勤務中で知りつつ終戦の苦しい生活経験も共有しました。新しい憲法の実施、教育制度の改革期にあたり、私の進路も、大きな転換期でした。

教職の道を再度選んで、広大広師へ進学し、渾身努力を重ねて、卒業とともに、地域内外の小、中学校に勤務いたしておよそ40年間。

定年後は、病氣と付き合いますが、菜園を楽しむ暮らして、多くの皆様へ感謝の念を大事にしながら、宮司・老人会・地域活動などの奉仕と併せながら、夜長の読書、王子神楽の縁起、囲碁など転々と結びの日まで頑張りますので、よろしくお願いたします。

## 比治山大学レポート No.3

地域文化政策学科 2年 大木 薫

比治山大学現代文化学科 地域文化政策学科 2年 大木 薫

「ビデオを見ての感想 人口が200人を少し超えるくらい。コンピニエンスストアや、スーパーマーケットなどの店が近くにないだろう、そうなる生活が大変だろう」というのは、お年寄りが多い、田舎や畑が多、自然豊かな場所、静かな田舎町という感じだった。

しかし「ふれあいセンター」がの村」として、廃校になった小学校を研修宿泊施設にしたり、ながの村の村長として公募をしたことを知り、過疎高齢化地域が元気になること、村民の住民も元気になるのだと、ビデオを見て思った。

実際にビデオでながの村の様子を見たときは、やはりイメージした通りの場所だと思いましたが、村の住民はとてもいきいきとしていました。中国人の方がながの村を訪れ、村の運動会に参加したり、村の住民と会話をしたり、また、ごきごきのお年寄りの方が楽しんで、指人形

「ながの村での体験はほかにもなく、楽しかったです。そばうち体験や炭焼き、まき割り、人形作りなど、どの体験も忘れられないものでした。」

●粉ちらし 名人といっしょそば作り ゆきな

●そばうちは 材料よりも愛情だ 美佐

わたしたちの俳句は、わたしたちの大切な宝物になりました。この宝物をいただいたのは、支えてくださった多くの方々のおかげだと思います。ありがとうございます。忘れな 山の体験

ながの村

またまた 研修生がながの村へ

アジアビジネス交流協同組合の研修生18名が10月3日より31日までながの村で集合研修にはいりました。今回が初めての研修です。

この組合は、福山市神辺町に事務所があり、年間100名近く研修生を中国やフィリピンから入国させています。フィリピンからは初めてで、男性4名で言語は英語です。他には中国の長春から、女性6名、男性8名がいます。研修は日本語、中国語、英語が飛び交い賑やかです。この協同組合の研修カリキュラムは、協同組合と計画され、研修の実をあげるよう国際研修協力機構の指導に添ったものになっています。一部ご紹介いたします。

●フィリピン研修生の場合

【1日目】注意事項確認、挨拶自己紹介、教室用語

【2日目】ビデオ2本(健康・相談)、歌、会話、礼儀と態度

【3日目】漢字、専門用語

【4日目】備忘録記入、生活案内、品質、食の安全、住宅の利用、食事とエチケット、ショッピングの注意、円と為替等、ぴりりと計画されています。

**白菜のごま酢和え**

◆材料 白菜/50g きゅうり/20g 塩/0.2g ハム/5g えのき茸/20g

◆材料A ごま油/しょうゆ/酢/砂糖/塩

<作り方> 1 白菜は茹でて3等分に切る きゅうりは小口切りにし塩もみして絞る えのき茸は3つに切って茹でる。1を材料Aで和える

**我が家の一品!!**

一品料理の受付は FAX 0847-86-0045

ながの村まで

あんなあ、この木なんの木、きになる木 大池の上にある旧民家の前にまるでプレスリーの袖のような大きな木。

この木の名前がわかる方、教えてください。

ながの村まで... 永野こまち探検隊

「山は海の友だち」 私たちは、7月27日〜30日まで神石高原町のながの村というところで3泊4日の宿泊学習をしました。

そこで、どうくつ探検や川遊びをしたり、酪農体験・炭焼き体験をしたり、農家に宿泊したり、今までにない忘れられない体験をたくさんしました。

そして、山のよさを感じるのと同時に、私たちのふるさとである走鳥のよさを知ることができました。そこでこの宿泊学習で感動したことを、心に残してつづてみました。

「谷川(洞くつ)探検」

●ながの村に到着。私たちは洞くつ探検へ出発!!

●標高差200m。険しい山道を声かけながら下った。

●川めざし 山道下って サバイバル さわ

●やっと谷川に着いたとき、川のさわやかさが気持ちよかったです。

●川のそば、すずしい音がやってくる。みく

●次は、幻の鍾乳洞。階段がわりのきやたつをのぼった。ぼつた。みんな汗びっしょりだ。

●ここにあるのは、世界に二つしかない珍しいカルサイトです。

**敬老の日のお祝い**

走鳥小学校より敬老の日のお祝いが届きました。

夏には 21名の子ども達を快く受け入れていただきありがとうございました。夏休みの一冊の思い出に「ながの村の宿舎会館」と言った子ども5人について、びっぴりました。2学期にもなるとお祝いする子が減るので、印象深い体験をさせていただいたのだと、喜びまで感じています。その際には本当にありがとうございました。

走鳥の子どもたちは「町の敬老会でながの村での体験を紹介する」と決め、はりきって練習しています。「ながの村」の写真と 感動を表したつた川柳を組み合わせて、ご披露する予定です。「ながの村のいっちゃんやばあちゃんはお元気かなあ〜」1年生の男の子が「ぼつ」と言いました。敬老会にむけて練習していたら、思い出したので、また 冬には絵巻でお披露いたします。みなさん、どうぞお元気で、お過ごしください。

平成20年 9月15日 福山市走鳥小学校 職員・児童一同

「民泊体験」

●2日目の夜は、近くの農家に泊まりいろいろな話を聞いたり、山の暮らし体験をしました。

●どのお家でも私たちがあたたかく迎えてくださり、とてもありがたかったです。

●ながの村 あたたいい人あふれる。ちなつ

●農家のまわりには、たんぼがあつて、カエルがいました。そのカエルをおいかけてどろんどろん

●民泊で カエルおかけ どりゅうた

ブル。中に入ると夏とは思えないほど涼しく、神秘的だった。

●鍾乳洞 世界に3つの秘宝です。けいすけ

「池田牧場で酪農体験をしました。そこでは、バター作りをしたり、乳しぼりやえさやりをしたりしました。」

●ミルク飲む 赤ちゃん子牛おいしそう

●その牧場には、牛ばかりではなくうさぎやヤギ、羊、馬、ぶたもいました。

●牧場に 馬がいたんだ 大きいな みゆ